

○ 有松まちづくりの会 役員会

①有松学区の「ふるさとづくりを考えるアンケート」実施（名古屋学院大学 井澤研究室）

名古屋学院大学は「歴史観光まちづくり」についての有松の課題を探り、まちづくりの方向性を検討するための住民アンケートを町内会のご協力のもと実施しました。

有松学区には4,200世帯数ありますが、そのうち町内会・自治会加入の3,800世帯にアンケート用紙が配られ、町内ごとに回収されました。

今後、調査の集計や報告書作成は大学で行われ、3月中には結果が発表される予定です。

②今年度の「町並み研修会」開催日決まる

開催日は4月21日（木）、訪問地は美濃赤坂と近江八幡と決まりました。

開催案内と申し込みのチラシを同封しますので、ご一読の上、是非参加を申し込んでください。

○ 重伝建推進委員会（2月22日）

①有松の町並みが「伝統的建造物群保存地区」に指定される（名古屋市）

名古屋市は伝統的建造物群保存地区保存審議会の答申を受け、有松の町並みを伝建地区に指定する告示を2月29日に出しました。引き続き文化庁に「重要伝統的建造物群保存地区」選定の申請を行い、今年の夏までには文化庁の審議会にかけられ、重伝建保存地区に選定される予定です。

②有松町並み相談会発足までのスケジュールについて

- | | |
|-------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|
| ・ 3月上旬 委員の人選 | <町並み相談会委員の構成> |
| ・ 3月21日 有松町並み相談会（仮称）設立準備会の開催
（相談会の枠組み、活動内容、規約等の調整） | ・ 3町内会各2名、・ 学区1名、 |
| ・ 4月18日 有松町並み相談会の発足
（町並み相談会の規約、役員・委員等の決定） | ・ まちづくりの会2名、
・ 商工会1名、絞組合1名、
アドバイザー：歴まち室等数名 |

○ 有松桶狭間観光振興協議会（2月23日）

①名古屋市の「観光情報発信事業」に有松・桶狭間地区が選ばれる（観光文化交流局）

名古屋市は、4月の組織改編時に、各局の観光事業部署を一つにまとめた「観光文化交流局」を発足させ、その主要事業の一つとして、有松（重伝建、絞り、山車）、桶狭間（桶狭間の戦い）を主体に観光情報を発信していく計画です。

②「第8回地蔵池・大池桜まつり」開催日

4月2日（土）に開催することが決まりました。（少雨決行）

昨年同様、3学区区政協力委員会の全面的な協力のもと、開催されます。

今年の特別イベントは、「桜まつり史跡巡りツアー」です。

<催し物等詳細はホームページ『有松のまち』の新着情報をご参照ください>

○ 第1回「福よせ雛 有松さんぼ道」始まる (2月27日～3月27日) P-2

福よせ雛メイン展示会場の絞会館に約200体、同じく山車会館には約150体の福よせ雛様が飾ら、有松東海道沿いの町屋30軒ほどの格子戸などに取り付けられ、「福よせ雛 有松さんぼ道」が始まりました。

気候も春めき、有松を訪問されるお客様もなごやかに町並みを歩かれることと思います。

期間中に一度は、ご家族揃って有松東海道にお出かけください。

【山車会館：山車曳き】



【絞会館：絞りのお店】



○ 桶狭間古戦場公園にパンフレットボックス設置

桶狭間古戦場保存会は、古戦場公園にある「ねずの木」看板足にパンフレットボックスを設置しました。これは、公園を訪れた方が「見て廻るにもなんの資料もなく、どこを見て廻ってよいかわからない」との苦情に応じて、設置されたものです。

現在は「桶狭間の戦いパンフレット」が「御自由にお取りください」と書かれたボックスに入れています。

予約なしで訪れた方もこのボックスのパンフレットを見て、古戦場巡りの参考にされています。



看板左足に設けられたボックス

○ 緑区観光ボランティアガイド育成講座 開催される (2月5日)

緑区観光ボランティアガイド育成講座が、緑区役所講堂で開かれました。

講師は、横浜シティガイド協会の嶋田昌子氏で、ガイドする上での心構えとコツについてアドバイスをいただきました。

『できるだけ地元の方だからできる話を入れましょう。その土地の記憶・知恵や経験を伝えていけば、来てよかったと感じてもらえます。ガイドにとって知識・話し方・笑顔は大切です。特に、笑顔でお客様に接するように心掛けましょう。』と話されました。豊富な活動の具体例とブラタモリの裏話などを交えての講座で、大変楽しい会でした。



グループ討議の風景

また、参加者がグループに分かれての討議も行われ、色々な事が話題になり、参考になりました。

○ 「工藤先生と行く日展 東海展 鑑賞会」開かれる（2月10日） P-3

桶狭間古戦場公園に建てられた今川義元公と織田信長公の銅像を造られた工藤潔先生は日展会員で、毎年開催されている展覧会に彫刻作品を出展されています。

今年の作品は「眠れぬ森の番人」で、昨今の想定外の気象被害が地球規模で起きていることに対し、「環境破壊に警鐘を」を課題としたもので、昨年「森の番人」の続編です。

二本の立木と上の葉（雲）で鳥居を表し、大地に立ち、そこからこちら側の世の中を心配そうに眺めている森の番人（仙人）が彫刻されています。後ろは森（自然界）です。着物や袖は前からの風を受けているが、その風は・・・。



眠れぬ森の番人



熱心に作品の説明をされる工藤先生

○ 「有松あないうた」作詞を検討中

有松あないうたの会会員の成田満さんが詩を制作し、同会員の佐藤るみさんが曲を付け、「有松あないうた」の試作品が生まれました。

現在この試作品をあないうたの会が検討中です。ご参考に試作歌詞の一部を掲載します。

東海道は有松の 旅の初めは一里塚 石段上がった祇園寺は 義直公をお祀りし

仏足石に観音さん 光明皇后歌を詠む 小高き山は天満社 有松村の氏神様

天保年間建てられた 街道照らす常夜燈

塗籠造りの小塚邸 湾(のたれ)の見える岡邸は 江戸の町並みさながらに 往時の姿偲ばれる

屋根にガス燈掲げしは 絞りの開祖竹田邸 家茂公に勝海舟 アーネスト・サトウも立ち寄った

弥次喜多道中伊勢参り 絞りを土産のいそぎ旅

○ 「中山道赤坂宿まちづくり連絡協議会」来訪（2月7日）

美濃赤坂は、江戸時代は中山道の宿場町で栄え、明治以降は裏山から掘り出されるセメント等の原材料である石灰岩を産業として成り立っている町です。この赤坂に沢山の団体・グループがあり、今後まちづくりを行うには共通認識が必要と連絡協議会を立ち上げました。今回まちづくり活動の参考事例を得たいと思われ有松を訪問されました。

御一行25名様は、午前があないうたの案内で町並みを見学し、寿限無茶屋で昼食を取り、竹田邸茶室で一服の後三番蔵に移動し、意見交換会を行いました。赤坂側からの質問に対し、回答は次の通りでした。

- ・町並み保存の取り組みは⇒重伝建推進委員会を設け、行政と協同で推進し、近々選定される予定。
 - ・あないうたの確保は⇒町を愛する人を主に、個別に入会を勧める。
 - ・あないうたの教育は⇒講師を招いての勉強会より、各自が勉強し、それを研修会で発表している。
 - ・絞りは産業として成り立っているのか⇒減少しているが輸出なども行い努力している。
- また、括り職人の高齢化にともない、3～40代の若手職人の育成を行っている。



熱心に説明を聞く赤坂の皆様

○ 東丘小3年生 有松を勉強 (2月22日)

東丘小学校3年生112名が地域学習の一環として有松を訪れました。これは「のこしたいもの つたえたいもの」を実際にまちに出て、まちに残る古いものをさがし、それを保存・継承してきたひとびとの願いを理解することを目的に行われました。

児童は9班に分かれ、それぞれの班に有松あないびとが付き、有松の3つの宝物、絞り・町並み・山車を中心に学習しました。絞会館では括りの実演とビデオを見て、東海道では江戸から昭和までの町屋の変化の説明を受け、山車会館では実物の山車（西町の神功皇后車）を見学し、あないびとの説明を熱心にメモをとったり、質問に積極的に手を挙げていました。

近隣の児童が重伝建保存地区になる有松を理解することは将来大変役立つこととされますので、来年も引き続き実施されることを願っています。



熱心に町並みを学習中

○ 催事・行事の予定

- ・3月01日 (火) 13:30 有松人道橋 銘板コンクール表彰式および銘板取付 有松小学校
- ・3月05日 (土) 10:00 絞開祖並びに物故功労者慰霊祭 絞会館・祇園寺 絞組合
- ・3月06日 (日) 09:00 有松東海道青空市 有松商工会周り
- ・3月13日 (日) 09:00 有松天満社清掃 社殿前集合 文嶺講
- ・3月19・20日 10:00 旅まつり名古屋2016 久屋大通公園 名古屋コンシェルジュ
- ・3月20日 (日) 09:00 有松東海道青空市 有松商工会周り
- 〃 10:00 有松天満社 春季大祭 文嶺講 (餅つき大会あり)
- ・3月27日 (日) 16:00 福よせ雛 有松さんぼ道 終了
- ・3月27日 (日) 中止 かえで道の清掃 有松まちづくりの会
- ・3月下旬 名鉄電車 有松・左京山間名古屋方面ロングレール化完工
- ・3月下旬 鎌研踏切 (有松4号踏切) 脇歩道完成
- ・4月01日 (金) 未定 救急隊配置式 緑消防署有松出張所
- ・4月02日 (土) 10:00 第8回 地蔵池・大池桜まつり 有松観光振、3学区区政協力委員会
(「桜まつり史跡巡りツアー」あり、詳細はHP「有松のまち」の新着情報参照)

発行者：竹田嘉兵衛 (有松まちづくりの会 副会長)

編集者：加藤 一成 (有松まちづくりの会 広報部員)

T・F 052-623-1676 090-4163-2671 E-mail katoisse@mc.ccnw.ne.jp

：有松まちづくりの会ホームページ

有松のまち

検索